

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」
基盤的研究・人材育成拠点整備事業(特定領域拠点(仮称))
において実施する事業のポイント(案)

【目的】

高齢化、少子化に伴う人口減少等による地域の活力低下は、我が国が直面する大きな課題である。このため、科学技術イノベーションによる地域の活性化を通じて、高付加価値化を志向した産業振興と雇用の創出につなげていくことが重要である。また、地域におけるオープンイノベーションの場の形成により、地域において世界で戦える技術・産業を創出していくことも求められている。こうしたニーズに応えるべく、人口動態や産業の在り方等を分析しつつ、エビデンスを踏まえた適切な政策立案及びマネジメントが出来る人材の発掘・育成が喫緊の課題となっている。

【基盤的研究】

○地方にフィールドを有する具体的な事例を対象とした地域システムの構築を目的として、政策デザイン、政策分析・影響評価及び政策形成プロセス実践を行いつつ、「政策のための科学」の手法及び指標の開発を行うこと。

【人材育成】

- 政府、自治体、大学・公的研究機関、企業の職員、学生等を対象とした人材育成プログラムを実施すること。プログラムは、平成27年度より開始することが望ましい。
- 政府、自治体等における客観的根拠(エビデンス)に基づく政策形成、民間企業における中長期的な経営・技術戦略の策定等を担う専門家、「政策のための科学」という新たな研究領域の発展の担い手となる研究者、「政策のための科学」と自然科学・人文社会科学等の各専門領域をつなぐ人材などを育成することを目的とすること。
- 広域にわたる社会人の人材育成を目的として、受講生を広域から集めるための取組を実施すること。また、大学キャンパス内で実施する講義に加え、講義のWEB配信等も行うことが望ましい。
- ネットワーク構築の仕組み(政策担当者、企業関係者、研究者等の対話の場等)を有していること。
- プログラムに、実証的・統計的分析手法及びICTの実習を含むこと。
- 全学的支援と終了後の見通しがあること。
- 毎年度、地方が必要とする人材・能力のニーズ、受講生の満足度等の把握を行い、プログラムの改善に務めること。

【その他】

○これまで基盤的研究・人材育成拠点で産み出された知見、経験、人材、ネットワーク等を活用すること。